

教育課程等の概要														
(看護学研究科看護学専攻博士後期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	システム理論	1・2前		2		○			1					兼1
	行動理論	1・2前		2		○								兼1
	看護ケア基礎科学	1・2後		2		○			4					*実験
	小計 (3科目)	—		6		—			5	0	0	0	0	兼2
専門科目	臨床ケアシステム特論	1・2前		2		○			2	1				兼1
	家族ケアシステム特論	1・2前		2		○			2	1				
	周産期ケアシステム特論	1・2前		2		○			2					
	高齢者ケアシステム特論	1・2前		2		○			1	1				
	コミュニティケアシステム特論	1・2前		2		○			2					
	看護技術教育学特論	1・2前		2		○			2					
	看護管理学特論	1・2前		2		○			1	1				
小計 (7科目)	—		14		—			12	4	0	0	0	兼1	
演習科目	看護学演習	1・2後	2				○		12	4				*実習
	小計 (1科目)	—	2			—			12	4	0	0	0	—
特別研究	博士後期課程特別研究Ⅰ	1通	2				○		15	3				
	博士後期課程特別研究Ⅱ	2通	2				○		15	3				
	博士後期課程特別研究Ⅲ	3通	2				○		15	3				
	小計 (3科目)	—	6			—			15	3	0	0	0	—
合計 (14科目)		—	8	20	0	—			17	4	0	0	0	兼3
学位又は称号	博士(看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係							
修了要件及び履修方法							授業期間等							
修士課程もしくは博士前期課程を修了後に3年以上在学し、共通科目から2単位、専門科目から主とする科目2単位、副とする科目2単位、演習科目から看護学演習2単位、特別研究から博士後期課程特別研究6単位の計14単位を修得しなければならない。 また、看護学演習については、選択した専門科目2科目(主とする科目及び副とする科目)の領域に該当する演習を履修するものとする。 さらに、必要な研究指導を受け本大学院の行う博士論文審査及び最終試験に合格することを修了の要件とする。							1学年の学期区分			2期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				